

|     |         |     |                   |    |    |     |   |
|-----|---------|-----|-------------------|----|----|-----|---|
| 科目名 | 市民社会論特講 | 担当者 | イケガミ キョコ<br>池上 清子 | 期間 | 通年 | 単位数 | 4 |
|-----|---------|-----|-------------------|----|----|-----|---|

【科目概要】

|                            |  |     |   |
|----------------------------|--|-----|---|
| 目的                         | <p>本講座は、異質性や多様性の尊重に基づく他者との連帯を活動原理とする NPO、NGO を知り、社会の中でその活動がもつ意味を考える能力を身に付ける。</p> <p>I. 経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。【A-1:4】</p> <p>II. 想像力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力あるいは他者と協働して問題を解決することができる。【A-4:4】</p> <p>III. さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて他者との信頼関係を確立し、ときに強い影響を与えることができる。【A-6:4】</p> <p>IV. 集団の活動において、より良い成果を上げるために、他者と協働し、作業を行うとともに、指導者として他者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。【A-7:4】</p>   |     |   |
| 到達目標                       | <p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>市民社会が組織する団体を、社会の多様なステークホルダー (団体、個人など) として理解する。さらに、市民社会の役割を概観することを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>I. 社会の変革 (transforming the world) の概念を理解する。(知識・想起)</p> <p>II. 市民社会を形作ってきた欧米の歴史的経験、国内の福祉サービスなどにおける新しい試み、日本の高齢者介護などの国内を活動基盤とする NPO。一方で、政府と非政府機関 (NGO) の区分の下、国際協力に携わる国際協力 NGO。NPO と NGO の分類を実施する。(知識・技能)</p> <p>III. アソシエーションの概念を把握したうえで、新しい社会を創り出すファクターやステークホルダーの役割や課題に配慮する。(態度・反応)</p>  |     |   |
| 学修方略 (方法)<br>【LS】と<br>学修時間 | <p>① (自習) 基本教材や参考文献などを熟読する。情報検索方法や自分の考えを構築することを含めて自律的な研究遂行能力を習得し、さらに、変化する社会環境や多様な価値観を読み解き、正当な批判と評価を行う理解を深め、判断力を養う。先行研究リストの中から、少なくとも 1-2 論文を読むこと。【SBO i. &amp; ii.】【20 時間/レポート 1 本】</p> <p>② (自主研究) レポート課題に沿った事例及びデータを収集し分析する。【SBO ii.】【10 時間/レポート 1 本】</p> <p>③ (レポート作成) レポートの草案を作成する。【SBO ii. &amp; iii.】【5 時間/レポート 1 本】</p> <p>④ (ディベート) manaba folio での掲示板機能を利用した受講生同士のディスカッション、あるいは複数回にわたって行われるレポート添削での教員と受講生とのディスカッションによりレポートの最終版を完成させる。【SBO ii. &amp; iii】【10 時間/レポート 1 本】</p> |     |   |
| スケジュール                     | <p>提出期限は前期が 9 月 19 日、後期が 1 月 14 日であることを注意する。</p> <p>前期：教材 1 のレポート課題 (1) の草稿は 6 月末、課題 (2) は 7 月末を目処に提出する。取り上げる題材については、草稿としてまとめる前に、メール等で相談することが望ましい。</p> <p>後期：教材 2 のレポート課題 (1) の草稿は 11 月中旬、課題 (2) は 12 月中旬を目処に提出する。取り上げる題材については、草稿としてまとめる前に、メール等で相談することが望ましい</p>  |     |   |
| 成績評価                       | 種別   | 割合  | 評価基準  |
|                            | レポート   | 80% | <p>以下の点を評価基準とする。</p> <p>課題に沿った論理構築がなされているか。課題に関係する重要な論点をおさえているか。結論が明確であるか。結論にいたるまでの理由が必要かつ十分であるか。</p> <p>3,000~4,000 字という短い字数で、自分の意見をまとめられているか。参考文献、先行研究などの情報検索が十分かどうか。</p> <p>脚注などレポート作成に必要な情報が正確に含まれているか。</p> |
|                            | 観察記録   | 20% | <p>manaba を通して行われるコメントに関する修正割合。毎回修正部分を赤字にして提出しているかどうかを含む。これらに加えて、レポート提出状況 (期限の順守など) を考慮する。</p>  |
| 履修者への要望                    | <p>成績の評価基準にも記したように、論理的であることと自分の意見をまとめることを主眼としているので、どんな小さな点でも構わないので、自分の考えや気づきを大切にして、レポートを書いていただきたい一般的な予習内容としては、on-going なトピックを追いかける研究であるため、新しい情報を常に入手することが重要となる。関連する Website や新聞記事などの分析は欠かせない。具体的には、教材や参考図書を読み込むこと、それらを吸収したうえで、レポートの課題に対する自分の考え方をまとめる。</p>  |     |   |

【レポート課題】

| 基本教材 1   |  |
|----------|--|
| 教材の概要    | 著者名： 宇野重規編<br>教材名： 『民主主義と市民社会』<br>(岩波書店、2016年) ISBN: 978-4-0002-7035-9 5,184円。   |
|          | 「民主主義」を自らのものとするために、敗戦から高度経済成長、ポスト冷戦からネット社会までを概観し、社会の変容のなかで形成された、戦後日本の市民像と社会像を分析する。   |
| 参考図書     | 本郷秀和・荒木剛・松岡佐智・袖井智子『介護系NPOの現状と制度外サービス展開に向けた課題』<br>福岡県立大学人間社会学部紀要 2011, Vol. 19, No. 2, 1-18<br>(ネット上で公開されている)   |
| 履修上のポイント | 以下の点に留意して、レポートをまとめること。<br>1. 第一段階として、日本国内のNPOについて概観する。<br>2. 歴史的な変遷を把握する。社会的背景を分析する。<br>3. どのように社会に役立っているのか、または、役にたっていないのかを明確に判断する。<br>4. 今後の日本国内のNPOの課題について考える。 |
| レポート課題 1 | 戦後の日本の市民社会の形成過程について歴史的変遷を含めて、3000-4000字でまとめる。<br><b>留意点：</b> 時間があれば、英国の事例は参考になる。   |
| レポート課題 2 | 日本のNPO(特に福祉・介護分野)の設立の背景と意義、課題について考察し、3000-4000字でまとめる。<br><b>留意点：</b> NPO全体の統計的なデータも含むと分かりやすい。  |

| 基本教材 2   |  |
|----------|--|
| 教材の概要    | 著者名： JANIC<br>教材名： 『NGO データブック 2016』2016<br>(JANICのホームページに掲載されている)   |
|          | NGOの活動を紹介した「国際協力NGOガイド」の最新版。<br>持続可能な開発目標(SDGs)をテーマにNGO 54団体を掲載し、具体的な活動を紹介している。  |
| 参考図書     | 内海成治編『新版 国際協力を学ぶ人のために』<br>(世界思想社、2016年) ISBN:978-4-7907-1674-7 2,800円+税  |
| 履修上のポイント | 以下の点に留意してレポートをまとめる。<br>1. 国際協力NGOの定義<br>2. 実際にどの国への支援活動が多いのか、日本の支援を獲得するために、どのような活動をしているのかなど、具体的な活動内容を知る<br>3. 世界的な開発枠組みである持続可能な開発目標(SDGs)との整合性をどのように進めようとしているのか。 |
| レポート課題 1 | 日本の国際協力NGOを概観し、抱える課題について、3000-4000字でまとめる。<br><b>留意点：</b> 国際協力NGO全体の統計的なデータを含むこと。課題は共通した点を指摘すること。   |
| レポート課題 2 | 身近で知っている国際協力NGOを一つ取り上げ、活動を評価する(3000-4000字でまとめる)。<br><b>留意点：</b> 身近にない場合には、NGOデータブックで紹介されている中から選択して、HPなどで情報を収集すること。   |